（答弁案）	主管課	危機管理室　防災・危機管理課		
	共管課	地域防災推進課		
佐藤　かずゆき		公　明	個人	９

１（１）

はじめに、防災対策のうち、在宅避難を可能にする取組についてです。

区では、発災初期において区民自らが命を守るための防災対策として、感震ブレーカーの配付や家具転倒防止器具の設置支援など自助の取組への支援を進めてまいりました。

在宅避難を推進するためには、こうした住まいの安全対策に加え、それぞれの生活環境に応じた備蓄を進めていただくことが重要となります。

今年度はそのきっかけとして、全区民への携帯トイレ三日分の配付とともに、自ら、在宅避難ができる環境を整える必要性や家族構成に応じた備蓄の目安がわかる「東京備蓄ナビ」の情報などを記載したリーフレットを配布いたします。

これは、在宅避難には「何が足りないか」を各家庭で自ら確認し、備蓄を補うという自助の行動を促していくことも狙いとしています。

（答弁案）	主管課	危機管理室　防災・危機管理課		
	共管課	地域防災推進課		
佐藤　かずゆき		公　明	個人	９

さらに、国の防災対策の動向を踏まえ、「スマート在宅避難・わが家シェルター化プロジェクト」として、感震ブレーカーの配付対象拡大や家具転倒防止器具の設置支援に、器具の配付を加えるなど、自助の取組支援を強化するための補正予算を、本定例会に計上しております。

このため、現時点で、ご提案の防災カタログギフトを実施する予定はありませんが、今後も、自助の意識と行動に支えられた在宅避難の定着に取り組んでまいります。

（答弁案）	主管課	土木部　道路公園課		
	共管課			
佐藤　かずゆき		公　明	個人	９

１（２）

次に、記録的短時間大雨に対する備えについてです。

区では、区道のアンダーパス区間で道路冠水の恐れがある権現坂ガードと仲原ガードについて、令和６年度に路面への浸水深を標示し、注意喚起を行っております。

ガードレール等への赤色のラインを引く取り組みについては、表示場所や周知方法などの課題も多く、区内限定では、運転手の認知も限られることから、今後の他自治体の取組みを注視してまいります。

（答弁案）	主管課	土木部　道路公園課		
	共管課			
佐藤　かずゆき		公　明	個人	９

４（１）アイ

次に、石神井川の臭気対策についてです。

石神井川は、王子駅付近から隅田川合流地点が潮の満ち引きの影響を受ける感潮河川となっており、水の流れが滞るため、流入した有機物が川底に溜まり、水質悪化やスカム発生に伴う臭気が発生しています。

現在、区では、河床しゅんせつ工事に加え、水流発生装置による人工的な流れの発生、王子桜橋からの地下鉄湧水を活用した散水や船舶の運航によるスカムの打ち落とし、石炭灰を活用した水質改善剤の設置を実施していますが、抜本的な解決には至っておりません。

ご提案いただいた技術については、皇居外濠（そとぼり）や河川、水路など様々な場所で水質浄化の実績があると聞いております。一方、豪雨時に水位が急激に増加する石神井川で適用できるかなどの課題もありますが、対策の一つとして検討してまいります。

（答弁案） 教育長答弁	主管課	教育振興部　生涯学習・学校地域連携課		
	共管課			
佐藤　かずゆき		公　明	個人	９

２（１）（２）（３）

私からは、コミュニティ･スクールに関するご質問について順次お答えします。

北区では、コミュニティ・スクールの導入を通じて、学校・保護者・地域の関係者が学校の現状や課題について共有し、熟議を重ねることで、学校経営の方向性について理解を深めながら合意形成を図る取組を進めてまいりました。

その結果、学校と地域が目標や課題を共有し、学校を地域全体で支えていこうとする意識の醸成につながるなど、学校と地域との連携・協働の推進に一定の成果が現れています。

教育長は就任時から、北区の地域力は、他の地域には無い大きな資源であり、強みであると考えています。

各校に配置されているスクールコーディネーターを中心に、地域学校協働活動が活発に展開されており、ＰＴＡや青少年委員会・青少年地区委員会など、多くの方々に学校を支える活動に参画していただいています。

（答弁案） 教育長答弁	主管課	教育振興部　生涯学習・学校地域連携課		
	共管課			
佐藤　かずゆき		公　明	個人	９

こうした北区の強みを十分に生かしながら、学校運営協議会での熟議と、地域学校協働活動の一体的推進を通じて、地域の方々がそれぞれの経験や知識を生かし、地域の実情に合わせた学校づくりや子どもたちの成長に関わることができる仕組みこそが、北区版コミュニティ・スクールであると捉えています。

今後の拡充に向けては、導入校数を増やすこと自体が目的ではなく、地域と学校の協働が実質的に機能し、子どもたちの豊かな学びと成長につながり、将来的には、教育課題や地域課題の解決に学校と地域が共に協力していくことが重要であると考えています。

そのため、今後の導入に当たりましては、各学校の状況や地域特性等を踏まえながら、丁寧に準備を進めるとともに、教育委員会が伴走支援を行い、コミュニティ・スクールの質の向上と充実に努めてまいります。

以上、お答え申し上げました。

（答弁案）	主管課	若者未来づくり応援担当部　若者未来づくり応援担当課		
	共管課			
佐藤　かずゆき		公　明	個人	９

３（１）

次に、若者支援・活躍応援事業についてのうち、北区若者meetingの参加促進についてお答えします。

北区若者meetingの参加者の募集にあたっては、北区ニュース、北区公式ウェブサイト、北区公式SNSでの情報発信とともに、王子駅をはじめとする鉄道駅や広告ディスプレイを活用した周知を行ったほか、区と包括連携協定を締結している大学において、学生へ参加の呼びかけを行うなど、若者同士の口コミによる情報の広がりにも期待しながら、幅広く周知を行ったところです。

また、開催方法につきましては、これまでも若者とのオンライントークを実施しておりますが、いただきましたご意見も参考にしながら、より多くの若者が参加しやすい開催方法について、引き続き検討してまいります。

（答弁案）	主管課	若者未来づくり応援担当部　若者未来づくり応援担当課		
	共管課			
佐藤　かずゆき		公　明	個人	９

３（２）

次に、北区若者ミライ応援基金の財源確保についてお答えします。

北区若者ミライ応援基金の設置に当たり、企業や個人からの指定寄附や、ふるさと納税による寄附を受け付けることは、より継続的に施策を推進する仕組みであると捉えています。

今定例会では、若者施策の認知度向上を目的とした若者のウェブサイトを制作するために必要な経費を補正予算に計上しておりますが、ウェブサイトの制作にあわせて、基金の趣旨や寄附の方法を分かりやすく周知するとともに、基金の活用状況についてもお示しすることで、寄附が若者施策にどのように活かされているかを明確にしてまいります。

また、寄附の手法につきましては、若者や企業等から意見聴取を行い、物や体験の寄附を含め従前の枠組みに捉われない手法を検討することで、若者施策の更なる理解と寄附への賛同をいただけるよう努めてまいります。

（答弁案）	主管課	都市整備部交通事業担当課		
	共管課	土木部道路公園課		
佐藤　かずゆき		公　明	個人	９

４（２）

次に、交通ルールの啓発について、お答えします。

区では、例年「春・秋の全国交通安全運動」において、国と東京都が定めた重点項目に合わせ、警察署等関係機関と連携・協力しながら、周知・啓発活動を展開しています。

この秋の運動では、交通事故に占める自転車事故の割合が高止まりであることや、いわゆる青切符の導入を踏まえ、自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底を重点項目の一つに掲げ、取り組むこととしています。

また、生活道路における自動車の法定速度の引き下げについても、制度改正から間もないこの機会を捉え、一層の周知を図る予定です。

なお、生活道路における速度抑制のための路面標示につきましては、効果の継続性などに課題があるため、今後の参考とさせていただきます。

区としましては、引き続き、交通事故がない安全安心なまちづくりの実現を目指してまいります。